

学習の流れ

めあての設定

- ・本時に追究する内容(めあての言葉)を児童から引き出す。
- ・問いのある「めあて」を設定。まとめとの整合性「～だろうか」のような疑問形。

課題解決のための活動

- ・思考し表現する時間の確保。
- ・事実と考えを整理し表現できるようにする。
- ・児童同士が交流し、考えを発展させる場面の設定。

↓
学び合いながら解決

まとめ

- めあてとの整合性
- ・児童が自分の言葉でまとめを書く。
- ・児童の言葉を使ってまとめる。
- ・評価問題。

振り返り

- ・学びの成果と次時への意欲付け。

展開	□児童の活動	○教師の働きかけ
問題提示	□本時に解決すべき問題を知る	○前時までの学習内容や児童の振り返りを基に、児童たちが問いをもてるよう問題を提示する
問いをもつ	□問題を見て、疑問や分からないところ、既習学習から解く方法を考える □問題に対して自分なりの状況を明らかにする	○児童の疑問や迷っていることを、板書等で全員に紹介をする ○問いを評価し、授業展開の方法を考える
めあての設定 問いの共有	□問いを集約する □友達の問いをたずねる □共通の問いをもつ □学習の方法を知る	○問題、学習方法を確認する ○児童の気づきを全体に紹介し、わかりをもたせる ○共通問題を作成する場合もあり
<p>焦点化：授業のねらいを明確にして、絞り込み、具体化する。</p>		
自力解決	□既習事項を生かしながら、自分なりに問題解決する □友達の気づきを参考にしながら自分の考えを書く □根拠を明確にして書く。	○問題に対する予想を立てさせる。 ・自力解決ができる児童 →他の考え方を書かせる。 ・支援が必要な児童 →個別または小集団で指導を行う。
集団解決	□問題に対する自分の考えを発表する □友達の考えを聞く □友達の考えに質問し賛成・反対を述べる □友達の気づきから、考えるヒントをつかむ	○ペア学習、班学習を取り入れる。 ○話し合いを児童に任せる。 児童の話し合いで進む授業展開 ・相互指名の方法指導 ・教師の適切な介入(切り返し発問) ○構造的に板書する。 ・視点を明確にした板書づくり ・児童の意見を反映させた板書
<p>共有化：お互いの考えを理解し合い、考えを深める。</p>		
まとめ 価値の共有	□友達から学んだものをまとめ、自分のものにする □自分の考えを整理する	○児童にまとめさせる ○まとめを共有化する
振り返り	□自分の「学び」の経過について振り返る。(内容と方法) □自分の「学び」の成果と課題について振り返る	○振り返りの視点を提示する。 ・「分かったこと」「気づいたこと」 ・「分からなかったこと」 ・「次時の課題につながる疑問」 ○よい振り返りを紹介し共有する